

奥多摩の教育

第237号
発行

奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ

令和6年8月1日現在

児童数 138名

生徒数 63名

教職員数 44名



5年生 伊豆移動教室

7月10日～12日実施

古里小学校と氷川学校の合同で、伊豆移動教室に行って参りました。

今回は、伊豆の自然や産業、歴史などについて様々な体験を通して学ぶこと、そして両校が一緒に生活する中で、更に友情を深めること、この2点を大きな目標としました。



十国峠展望台にて

1日目、十国峠のケーブルカーに乗り、展望台から伊豆半島を見渡しました。また、酪農体験施設でヤギや牛に餌をあげたり、葎山

反射炉で歴史を学んだりすることができました。

2日目は、沼津港に行き水門や市場を見学しました。ガイドさんから、水門が建てられた理由や、せりについての説明をいただきました。その後は、干物づくり体験や茶摘みと茶もみ体験をしました。

3日目は、富士山世界遺産センターへ行き、疑似登山体験をしました。本当に登っているようでした。子供たちは喜んでいました。その後は白糸の滝、そして鳴沢氷穴を見学し、自然の壮大さと美しさを実感することができました。

この3日間、たくさん「見て」「知って」「触れる」体験活動を実施することができました。子供たちは、一人一人新たな発見や気付きがあったことと思います。この経験を今後の生活に大いに生かして欲しいです。

報告 古里小 北沢彩

6年生 日光移動教室

7月23日～25日実施

今年度も古里小学校と氷川小学校の6年生が合同で日光移動教室へ行ってきました。

合同での移動教室が3回目であること、6年生になってからも交流学习を通して一緒に過ごしてきたことで、前から同じ学級だったような一体感をもって臨むことができました。

1日目、奥多摩を出発して大谷博物館に向かいました。中はひんやりとしていて、子供たちから驚きの声があがりました。続いて日光東照宮に向かいました。それぞれが事前学習で調べてきた内容をガイドしながら見学をしました。鳴き龍では、音が響き渡り驚きの声があがっていました。



戦場ヶ原ハイキング

自然博物館では最新デジタル技術で日光の自然を体験しました。華厳の滝では落差のある荘厳な姿を見ることができました。光徳牧場では念願のアイスが食べられてみんな大満足でした。

3日目は天気にも恵まれ、戦場ヶ原をハイキングしました。広大な湿原の自然を味わいながら気持ちよく歩くことができました。その後、足尾銅山、富弘美術館に寄り、これまでの学習をさらに深めることができました。

3日間があっという間に過ぎた日光移動教室、さらに両校の仲を深めることができました。

3日間で学んだことを、残り約半年となった小学校生活で存分に生かして欲しいと思います。

報告 氷川小 峯岸覚美

古里小学校の特色のある教育活動

教育目標「命を大切に 共に輝き 生きていこう」かしこく なかよく たくましく

学校は、子供たちの元気と笑顔でいっぱいです。全校児童87名の子供たち一人一人が、学習に運動に一生懸命に取り組んでいます。

ここでは、古里小学校の特色ある教育活動の一部をご紹介します。

＜表現力向上の取組＞

年間を通して詩や九九の暗唱検定を校長室検定と銘打って実施しています。また、学期に数回ずつ音楽朝会（学年単位の発表と全校合唱）と、音読朝会（詩の群読）を設け、自信をもって表現できる子供の育成を図っています。



＜体力向上の取組＞

体力強化旬間を学期ごとに設定し、子供たちの体力・運動能力の向上を図っています。また、毎週木曜日のロング遊び（他の曜日よりも長い時間外遊びをすることのできる昼休み）で、外遊びを楽しみながら体を動かすことで体力向上につなげていきます。



＜体験学習の充実＞

地域の自然や文化を生かした教育活動（奥多摩学習）を推進しています。わさびやしいたけの植え付け、よもぎ団子作り、米作り、ヤマメの飼育、林業体験、落語教室、生け花教室など、地域環境・人材を有効活用しながら実施しています。



氷川小学校の特色ある教育活動～わがまち奥多摩を愛する児童の育成～



学校周辺の自然や教材、地域の方々の関わりを大切に、体験を通して学びの楽しさを実感できる学習を充実させています。

今年度は、よもぎ摘み＆団子づくり、わさび田見学、治助いも堀り、聖滝までの沢登り、林業体験、しいたけ栽培、水干登山などを行いました。いずれも地域の皆様のお力を借りながらの学習となっています。

①奥多摩学習

氷川小学校では55名の子供たちが毎日元気に、勉強に遊びに励んでいます。

氷川小学校の特色ある教育活動を3つ紹介させていただきます。

②縦割り班活動

全校児童を4つの縦割り班に分け、日々の清掃活動や学校行事に取り組みさせています。

前期と後期の2期に分けて、班編成を行い、できるだけ多くの関わりがもてるように工夫しています。



③氷川獅子

「総合的な学習の時間」に地域の伝統文化として継承されている三匹獅子について調べたり、実際に舞ってみたいと思います。

約20年続く、氷川小学校の伝統的な行事となっています。

近年子供たちが曲を創作するまでになりました。今年も運動会で披露する予定です。





奥多摩中学校の特色ある教育活動

(1) 教育目標達成に向けた「2つの柱」

① ESDの推進

「地域を大切に」する心を育てるために、地域の伝統・文化に立脚した「ESD(持続可能な発展のための教育)」を推進し、持続可能な社会の形成者として地域を支える人材育成を目指します。

② キャリア教育の推進

「21世紀をたくましく生きる」力を育てるために、「キャリア教育」を推進し、変化の激しい社会の中で、協働しながら自分のよさを生かし、社会的に自立した人材育成を目指します。

(2) 教育目標達成に必要な「3+1の力」

① 「主体性の基盤となる自己管理能力」

② 「協働を支える人間関係形成能力・豊かな心」

③ 「主体的・協働的な課題対応能力」

④ 「キャリアプランニング能力」

(3) 効果的な実践に向けた3つのツールの活用

① 「ICT機器の活用」による効率的な学びの促進

② 「マインドマップの手法」による思考力・判断力・表現力活用の促進

③ 「プロジェクトアドベンチャー」や「構成的グループエンカウンター」の手法を活用し、社会力の醸成の促進



奥多摩中学校第2学年では、6月4日から7日までの4日間で、職場体験に行ってきました。4月上旬から事前学習で、「働くとはどういうことなのか」「職場体験での目標」などを考えてきました。実際に生徒が考えた目標は「働く上での楽しさや大変さについて身をもって実感する。」「体験を通して、社会に出るということに対する意識を高める。」などがありました。一人一人様々な目標を立て、職場体験に臨みました。

職場体験をしてきました



体験先は、奥多摩町内はじめ青梅市の事業所にも受け入れていただきました。飲食店や美容院、保育園、ペットショップ、配送業など様々な業種の方にご協力いただき、生徒は日常生活ではできない貴重な経験をする事ができました。

職場体験後は事後学習として、体験内容をスライドにまとめ、報告会を行いました。その中で、職場体験を通して生徒たちが、「働くこと」に対して考えたことを一部紹介します。「お金をもらっただけでなく、誰かの幸せを作ること。」「大変なことの方が、多く楽しくないと思っていたが、意外と楽しいことが分かった。」「思いどおりにいかないことも全て受け入れなければならぬ。」「などです。生徒それぞれが「働くこと」について深く考え、将来に生かそうと考えるよい機会となりました。

報告 加藤翼

図書館を活用しよう

開館時間

9・30～17・00

詳細

休館日

毎週月曜日・祝日・年末年始・

特別整理休館

貸出冊数…1人5冊まで

貸出期間…15日以内



やまびこ号

古里ルート 第2第4火曜日

氷川ルート 第1第3火曜日

(ルートについては図書館ホームページ・各図書館内配布の巡回予定表・防災行政無線のお知らせ等でご確認ください。)

図書館をはじめご利用される町民のみならず

・本を借りる際に図書館利用者カードを作成いたします。保険証・マイナンバーカード・運転免許証などをご持参ください。

古里図書館…小丹波82

☎0428 (85) 1621

氷川図書館…氷川19910

☎0428 (83) 8227



貸し出しの様子

館内への飲み物(フタ付き)の持込がOKになりました。



奥多摩町にお住まいの方は、

8市町村(奥多摩町含む)にある

29図書館で本が借りられます。

〔奥多摩町・青梅市・福生市・

羽村市・あきる野市・瑞穂町・

日の出町・檜原村〕

◎各市町村の図書館で登録が必要です。健康保険証や運転免許証、学生証、マイナンバーカードなどをご持参ください。

◎利用カードは市町村ごとに発行が必要です。貸出冊数や貸出期間などは各市町村で確認ください。

❖教育相談室より❖

映画「関心領域」をみて…
スクールソーシャルワーカー

金澤 かく

この映画はアウシュビッツと壁一枚隔てたところに住んでいるアウシュビッツ所長一家の日常を描いた作品です。キレイな花が咲く庭、プールで近所の子とはしゃぐ子供たち、幸せそうな生活が描かれていきます。一方で、壁の向こうでは、史上最悪な虐殺が行われていることを知らせるいろいろな音が聞こえてきます。この異様な状況をみる観客は恐怖を覚える人が多いでしょう。所長一家が比類ない悪人なのでしょうか。

ユダヤ人虐殺の加害者に対する研究はアッシュの「同調圧力」実験が有名だと思えます。この実験は、多くの人が同調圧力によって意図せず、「悪事」を働く可能性があることを証明しました。今日は認知バイアスの中の「確認バイアス」という角度から所長夫人の言動を考えてみたいと思います。私たちは常に客観的に物事を見て

ちにいろいろなバイアスによって、知覚したものをゆがんだ形で取り込んでいくことが多いです。「確認バイアス」とは、「自分の考えを支持する情報ばかりを集め、反対する情報を無視する傾向」のことです。所長夫人は3人の子供の母親であり、おそらく下層階級の生まれでした。世界大戦という動乱の中で、彼女は、豊富な食料、立派な家を手にすることが、家族にとつての一番の幸せだと考えてもおかしくはないと思います。彼女はこの信念をもとに、庭を入念に手入れさせ、プール付きの豪邸にしがみつきました。そして、この生活を脅かすアウシュビッツから聞こえてくる残酷な音を自分の関心領域から排除し、見て見ぬふりしていたと考えられます。

私たちは彼女を非難できる立場にいないのでしょうか。常日頃、私たちはSNSで自分の価値観に合うものだけを見て吸収し、自分の信念に反する意見には耳を貸していないのではないのでしょうか。この映画は警鐘を鳴らしてくれているのかもしれない。

奥多摩クライミング委員会様より
小学校にボルダリングウォールを
ご寄付いただきました



ボルダリング教室を開催しました

奥多摩クライミング委員会様が子供たちにボルダリングに触れてほしいと、古里・氷川小学校の体育館にボルダリングウォールとマットをご寄付くださいました。同委員会では、岩場利用におけるマナー向上推進及びクライマーの山や人との関わりを深めるため、地域住民や行政との対話や、岩場の環境整備活動などを行っております。ご寄付の趣旨に基づき、有効な活用をさせていただきます。ありがとうございました。

青少年対策地区委員会連絡協議会講演会・体験会を開催

青少年対策地区委員会連絡協議会は、令和6年7月20日に東京都の協力による「青少年応援プロジェクト@奥多摩」を、主に高校生以下の子供たちを対象として、文化会館で講演会を開催しました。

講師には、プロクライマーであり、日本代表としてワールドカップにも出場、最高10位にランクインされ、2012年には世界で女性初のV14を達成し、世界で最も活躍したクライマーに贈られるゴールデンビトン賞とゴールデンクライミングシューズ賞を受賞され、現在は指導者・解説者として活躍中の尾川智子氏をお迎えし、「スポーツ・職業体験」をテーマに第一部を講演会、第二部を古里小学校体育館でボルダリングの体験会を行い、講演会には、約60人の方々に参加していただきました。



第1部 尾川 智子氏 講演会



第2部 ボルダリング体験をされた皆さん

おくたまコラム

聞く・みる

「奥多摩ならではの体験授業」

教育長職務代理人 原島 幹典

7月初旬、氷川小学校の3年生を川乗谷の沢歩きに連れて行きました。もう20年ほど前から毎年恒例になっている授業です。水道の取水口を見て、「氷川地区の人はみんなこの川の水を飲んでるんだよ。」と説明すると、子供たちは驚いていました。森に降った雨が土にしみこみ、きれいな湧き水になって沢を流れているそのリアリティーを感じてくれたのでしょうか。その後、上流でたっぷり沢歩きを楽しみました。奥多摩の自然の豊かさを肌で感じて、記憶に残る体験になったのではないのでしょうか。



ゴールの聖滝

FCG CALLAWAY WORLD CHAMPIONSHIPに出場 (FCG キャロウェイ 世界ジュニアゴルフ選手権大会)

森田^{たいと}泰飛くん(氷川小学校2年生、長畑在住)が7月15日～17日に実施されたFCG CALLAWAY WORLD CHAMPIONSHIP(大会会場:アメリカ・カリフォルニア州)の8歳以下の部に出場し、第3位の成績を収められました。おめでとうございます。



3位に入賞し盾を手にした泰飛くん

(上) 高さ8mのタワー型クライミングウォールと
幼児用ボルダリング (下) 柔道・親子ヨガ



6月9日に、第3回奥多摩スポーツフェスティバルを開催しました。このフェスティバルは、古里小学校の校庭及び体育館、奥多摩文化会館において、住民のみなさんの健康増進と、住民の交流を図ることを目的として隔年実施しています。

当日は、奥多摩清流太鼓の演奏から始まり、校庭では、ボルダリング(タワー型クライミングウォール)やグラウンドゴルフ、ストラックアウト、昔遊び(缶ぽっくり)、親子ヨガ、体育館では、ボッチャ、卓球マシン体験、スポーツ協会体験コーナー(柔道・剣道)、文化会館では、健康体操、フラフープ、健康相談、血管年齢、骨密度検査、トールペイント、書道体験が行われました。また、伝統文化継承として、鹿島踊り・川野車人形のビデオ上映などが行われました。

奥多摩スポーツフェスティバル実行委員会に参加した所属団体の皆さんのご協力により、約400人の方々が参加し、小さなお子さんから高齢者の方が、一緒になって楽しく過ごしていただきました。

第3回奥多摩スポーツフェスティバル開催